

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月26日		記入者		内線	2685
部 名	保健福祉部	課 名	障害福祉課	課長名	篠崎正義	
事務事業名	精神障害者地域生活支援センター運営費補助事業					
予算上の事務事業名	精神障害者地域生活支援センター運営費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				事業開始年度	
施 策 名	第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり				平成15年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等						
市精神障害者地域生活支援センター施設整備等補助金交付要綱 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第50条の2						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	相模原市障害者福祉計画		障害者を主体とした施策を総合的に推進し、サービスを体系的に提供する。実施計画（前期H10～14、中期H15～18、後期H19～22）精神保健福祉施策の推進			
計画年次	10	年度～	22	年度		
4 事業形態の区分			助成(給付・補助・貸付)		▼	
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)			
精神障害者の社会復帰、自立、社会参加の促進を図ることを目的とした施設の設置、運営に対して、費用の一部を助成する。結果的に安定した施設運営が行われ、精神障害者への福祉サービスを継続的、効果的に実施することができる。			特定非営利活動法人 NPOかむ			
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
精神障害者に関する問題全般についての相談、指導、助言、精神障害者福祉サービスの利用の助言、関係施設との連絡調整を行い、精神障害者の社会復帰と自立、社会参加の促進を図ることを目的とした施設の設置、運営に対して、費用の一部を助成した。(400千円×対象月数) 家賃助成：4,800,000(400,000×12月=4,800,000)						
6 関連・類似事業や他市の状況						
鎌倉市 月額家賃420千円、茅ヶ崎市 月額家賃430千円、横須賀市 月額家賃169千円～全額補助 横浜市、町田市、南足柄市～市立施設使用により減免 藤沢市 月額家賃346千円～1/2補助						
7 事業費の推移	〔単位：千円〕					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	0	23,105	4,800	4,800	4,800	
一般財源	0	23,105	4,800	4,800	4,800	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	318	120	120	120	
事業コスト合計(a)	0	23,423	4,920	4,920	4,920	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	精神障害者地域生活センター運営費補助事業			対象名称 (単位)	利用登録者数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	0	23,105	4,800	4,800	4,800	
対象数	0	235	318	318	318	
単位あたり経費(円)		98,319	15,094	15,094	15,094	
前年度比			0.15	1.00	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	利用登録者率 (%)	指標式と指 標の説明	利用登録者(318)÷精神障害者(手帳所持)×100=利用登録者率 精神障害者に占める利用登録者数により成果を見る。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	19.0	28.0		
目標	0.0	19.0	19.0	28.0	30.0
目標達成度		1.00	1.47		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	面接、電話相談件数 (夜間、休日含む)	指標式と指 標の説明	面接、電話相談件数/年 精神障害者の社会参加促進と早期の相談による病状安定と再発予防を図る		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	1780.0	5133.0		
目標	0.0	1780.0	1780.0	5000.0	5000.0
目標達成度		100.0	288.4		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		精神障害者の社会復帰、自立、社会参加を図る上で安定した施設運営を行い、継続的な福祉サービスを提供するために事業の継続が必要である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 センター事業の一層の周知			14 課題として認識されたこと 利用者の増加率や地域性等を勘案し、新規施設の設置について検討したい。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			